

O unico encontro na vida



こんなこと あんなこと あったでしょう

◇学級での活動 【10分コース/20分コース】 ※延長なし

2部制の学校は、午前と午後それぞれ4時間で下校します。今回は午前と午後を入れ替えて2回の訪問を組み、より多くの子どもたちと交流をしました。限られた時間内で、次のような活動を行いました。

【10分】挨拶「おはよう、こんにちは…」、1～10の教え方、質問

【20分】10分コースの内容+手(指)遊び、各種じゃんけん、手足の協応動作

あいこ「じゃんけん」



JUDO ≠ 柔道 いくつかの学校で取り入れています。

ようやく柔道の授業(4年)を参観できました。子どもたちからは、「JUDO」の話題が何度も出ていたので待ち望んでいたのですが、体育授業は専科の教員が週2回行うため、なかなか参観の機会に恵まれませんでした。・・・以下は、参観メモと雑感です。半屋外の体育施設で床はコンクリート、その上にウレタン素材のマットが畳の代わりです。



座礼からはじまる授業

「O」くつ(ビーチサンダル)は、まづまづ揃っている。全員が正座をして待つ。私語は一切ない。

後ろ受け身、横受け身、前受け身、前回り受け身、無言での反復練習が続く。まづまづ安心。

「△」受け身の練習中、教師の声かけはもとより、子どもどうしの関わりがない。

「×」受け身が未熟な子どもに、教師が背負い投げや大外刈りなどの立ち技を淡々と教えている。

長い髪のまま、ピアスをつけたまま、靴下をはいたまま参加している。



体育(5年)の授業観察・参加 マリア・バッキー校

市内ドッジボール大会4連覇校。ボールに対しての反応が早く、タイミングよく捕球したり体のねじりを使ってボールを投げたりしている子が多い。しかし、体育の授業としては物足りない。体育教師との会話で「運動量の不足」を指摘し、ボールを2個使用することを提案しました。子どもたちにやり方を説明してゲームを始めました。子どもたちの体や視線の動きは激しくなり、歓声も増大しました。

■■ 授業後の体育教師との対話…ボールを1個増やただけで「子どもたちの動きが変わり、運動量は3倍」になりました。更に経験を積むと、仲間と連携してプレーするなど考えてプレーするようになります。いつもの運動に工夫を加えることで、運動の内容(量と質)は大きく変わります。

5年出前講座「麻薬等の犯罪」 講師：市警察官

ペドロ・リール学区は、経済面等で困窮する家庭が多く点在しており、子どもたちにとっては切実な問題になっています。

◆子どもからの質問「日本の学校では、いじめはありますか」

◇回答「いじめはあります」

学校では、「いじめは絶対に許さない」という強い意志を全児童生徒と全教職員、保護者ならびに学区の住民が共通認識としてもち、学校生活を送っています。

ロータリークラブ定期会合に参加



豊橋市教育委員会とパラナヴァイ市との友好提携に関する協定書作成時(2008)ヤマカワ元市長(左)とロータリークラブ会長(右)と記念に。